



全体的演奏・演技の調和

全体的演奏・演技の調和

演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。

○全体的表現

・全体構成

「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。

・音楽と視覚の調和

音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。

・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

・完成度

安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

○音楽的表現

・表現

テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。

・バランスとブレンド

ステージング(フォーメーションの中での楽器の配置)を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器の

バランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。

・強弱

美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。

・統一感

イントネーション等がそろっているか。

○視覚的表現

・表現

テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。

・ポジションワーク

インターバル(横の間隔)やディスタンス(縦の間隔)等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。

・動作の鮮明度と同一性

動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。

・リカバリー

ミスに対して適切な対応をしているか。

段階C(BOX C) 良好 70未満	段階B(BOX B) 優良 70以上85未満	段階A(BOX A) 優秀 85以上100満点	/100

全体的演奏・演技の調和 審査基準(クライテリア)	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテ(動き方を図とコメントで示したもの)の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。 ・ メンバー(演奏・演技者)の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。 ・ テンポの維持や変化が適切になされている。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。 ・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができる。 ・ メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面が見受けられる。 ・ テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。 ・ ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。 ・ メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果に訴えることができていない。 ・ テンポの維持や変化が不正確である。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールも不十分である。 ・ ポジションワークや形、タイミングが揃った動きの表現があまりなされておらず、リカバリーしようとする姿勢も不足している。